

# 定例教育委員会会議録

(平成27年4月3日開催)

岡谷市教育委員会

# 定例教育委員会会議録

日 時 平成27年4月3日(金)

午後3時

場 所 市役所6階602会議室

署名委員 小野委員 橋爪委員

## 【次 第】

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 議 題

1. 岡谷小学校統合計画の推進について (教育総務課)  
・統合に伴う学校名の扱いに関する方針の決定について【資料No.1】
2. 岡谷市いじめ防止等のための基本方針(素案)について【資料No.2】 (教育総務課)
3. 岡谷市教育委員会表彰について【資料No.3】(非公開) (教育総務課)

### ○ 報 告

1. 平成27年度教育委員会事務局職員定期人事異動について【資料No.4】  
(教育総務課)

### ○ その 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

【次回開催予定】 5月8日(金) 定例教育委員会 10時00分 601会議室(庁舎6階)

## 出席委員

教育委員長 草間 吉幸、職務代理者 倉田 啓子、教育委員 小野 繁男、  
教育委員 橋爪 園美、教育委員 太田 博久、教育長 岩本 博行

## 事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部担当橋爪参事: 橋爪 哲也、  
生涯学習課長 小坂 英之、スポーツ振興課長 小松 厚、  
教育総務課主幹 両角 秀孝、教育総務課主幹 高橋 卓、  
教育総務課主査 清水 亮、教育総務課主査 伊藤 清和

## <会議録>

### ○開 会

草間委員長： それでは、これより4月の定例教育委員会を始めます。  
本日の署名委員は、小野委員と橋爪委員になります。  
最初に教育長報告をお願いします。

### ○教育長報告

図書館の路頭桜が咲きました。ようやく春が来たという感じがします。

今日から新学期となります。それぞれ良い入学式となりました。また、今年は岡谷小の最後の入学式でありましたので、感慨深いものがありました。子ども達のこの一年の成長を願っております。

#### ・新学期が無事スタート

小学校新入生 445名、中学校新入生 489名 計 934名

市全体：小学校 2,670名、中学校 1,464名 合計 4,134名

この体制で臨んでいきます。

#### ・岡谷市ホームページのリニューアル

教育委員会ホームページも新たなものになりました。教育委員会からの情報の発信に努めてまいります。

#### ・今年度の学校教育の重点

地域に根ざした特色ある学校づくりの推進

ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の充実

確かな学力保障と成長保障を図る授業改善

笑顔で安心して学べる教育環境の整備

「自立と共生」につながる教育活動の充実

どの学校でもこの5つの重点を基盤にしながら、特色ある活動を展開し、魅力ある学校づくりを具現していきたいと考えています。

#### ・統合を推進する中核教員（統合企画教員）について

本年度、県から配属されることになった2名の統合企画教員を紹介

竹内良之教諭（田中小在籍）、小林哲也教諭（神明小在籍）

岡谷小、田中小、神明小の3校を兼務し、市教委にもデスクを設置。統合の強力な推進役としてご活躍いただきます。

#### ・川岸地区山林火災の現況等の報告

3/31に発生した川岸地区での山林火災について、経過と避難所開設など教育委員会としての対応状況を報告。

### ○議 題

#### 1. 岡谷小学校統合計画の推進について

- ・統合に伴う学校名の扱いに関する方針の決定について【資料No.1】

草間委員長： この件は、継続協議としております。前回の教育委員会以降の取り組み等について報告がありましたらお願いします。

<事務局より経過報告に続き、資料No.1に基づいて「統合に伴う学校名の扱いに関する方針の決定について」を提案>

草間委員長： ただ今説明のあったとおり、本日統合に伴う校名の扱いに関する方針についてここで決定したいと思います。何か質問や意見がありましたらお願いします。

倉田職務代理： 地域の人からは、岡谷田中小学校という名が良いなと言う声があった。一番落ち着く名前だと思っていますので、神明小についても統合されて神明小になったということを考えればこれで良いのかなと思います。

岩本教育長： 先生方の人事異動が新聞に載るが、そこでは東御市の田中小と分けるために、既に岡谷田中小といった表記がされている。私としてはなじみがあり、結果的にも良い名前だと思います。

草間委員長： ほかにありますか。一通り意見が出たようですので、新しい校名を田中小学校は、岡谷田中小に、神明小は、現在の神明小学校という名前を大切に引き継ぐということで決定してよろしいでしょうか。

それでは、教育委員会として決定することといたします。

## 【承 認】

### 2. 岡谷市いじめ防止等のための基本方針（素案）について【資料No.2】（教育総務課）

草間委員長： それでは、議題2の説明をお願いします。

<事務局より資料No.2に基づき総合教育会議の概要及び岡谷市いじめ防止等のための基本方針（素案）について説明>

草間委員長： この基本方針については、今まで協議を重ねてまいりました。本日、案として承認した上で、4月23日の総合教育会議におきまして、基本方針を協議する予定ということです。

何か質問や意見がありましたらお願いします。

草間委員長： P8の(2)イの調査組織とあり、P9に市長の再調査とあるがこの構成員は全く変えるということですか。

事務局： 別の方になると思う。いつ起こるかかわからないので、ある程度候補者の案をこちらで持っていないといけないと思います。

草間委員長： 調査して、再調査なので、新たに調査するということだと思うので、構成員も当然変わるということで理解して良いですか。

事務局： はい。

事務局： 補足ですが、計画にも書いてあるが、P10のフローを見ていただくと、学校又は教育委員会による調査の留意点のところに公平性・中立性・客観性を確保した調査が学校の方の調査であり、また、その調査とは別に市長による再調査も公平性・中立性・客観性を確保して行うとあります。この部分を担保しながら対応します。

橋爪委員： 以前も申し上げたが、加害の児童生徒のことが気になるが、いじめを受けた保護者、児童への対応はあるが、加害側、関わった児童生徒への対応は警察などにお任せするというところでここには載っていないのですか。

事務局： 重大事態の前の記載では載ってきますが、これは教育委員会で調査することになった時の流れがフローチャートになっている。日々業務を行う中では、直接警察に話が行くというケースもあるので、そうするとこのフローとは違ってしまう。このフローだけで済まない部分はあると感じています。

橋爪委員： いじめを受けたというくだりがあったので、そうするとそうでない子ども達への対応があるとバランスが取れると思います。

事務局： 重大事態であってもなくても、早期対応という部分については、同じスタンスだと思うので、P7の早期対応という部分をもう一度読み返して、フローチャートの中にもう少しきれいに書き込みができるか考えてみます。

橋爪委員： それと同じようなことがP7の「いじめられた児童生徒を徹底して守り通す」というところにも何か一言加えられたらと思います。

事務局： 分かりました。

橋爪委員： もう一つ、家庭の担う機能は重要だと思うが、P3の家庭、地域との連携のところ、「温かく安心できる環境のもとで」という表現をあと少し工夫して、子ども達が自分が認められているとか、自分が大切と思われているという心を育てるということも盛り込んでいただければと思う。なぜかと言うと、良くない感情が生まれたときに踏みとどまるには、僕はそんなことをする人ではないという部分がベースになると思うので、家庭が何をするかというものをここでずばり盛り込むと保護者の拠り所になる文言があれば良いと思います。

倉田職務代理： 例えばどんな言葉ですか。

橋爪委員： 褒める、子どもを認めるという言葉。子どもの認めどころを保護者が見つけ、丁寧に声がけしていくことで、自己肯定感を持って、いじめという行為に自分でストップをかけられるのではないかなと思う。そこは、子どもが頑張れる部分ではないので、家庭が頑張ることとして盛り込めたら良いと思うがいかがでしょうか。

草間委員長： 今のご意見について他の委員さんはどうでしょうか。

小野委員： 基本方針のなかに具体的に載ってくるとどうかと思うので、後段に入ってくればとも思います。

橋爪委員： 温かく安心できる環境のもとでという辺りに少し加えていただいて、大きな変更をする必要はないと思います。

小野委員： それで良いかと思います。

事務局： 全体のページ構成も考えて、どちらかの案を参考に考えてみたいと思います。

橋爪委員： それと、P1の下から3行目の「学校そして地域が」のところには家庭を入れた方が良くと思います。

事務局： 地域のところに家庭も入っているイメージで表記した部分ではありますが、あえて出して表記した方がよろしければ入れても良いと思います。

橋爪委員： 他にもセットのフレーズで出ていたと思うので、支障が無ければ統一をお願いします。

草間委員長： 今橋爪委員の意見もありましたが、いじめ防止を主体に考えたときに、どこに重点を置くか。加害者というよりも、いじめを防止するという部分で、これは教育委員会としての立場は、あくまでも大津のような事件を起こさないということを重点で考えるのか、加害者のことを考えていじめ防止をするのか、市長部局とも話し合いをしないといけない。

事務局： きっかけは大津の事故だが、事前防止は絶対的に大事だと教育長もおっしゃっているの  
で、そう考えると橋爪委員のおっしゃる家庭のというものも大事な部分だと思います。

岩本教育長： 予防という点では、子どもの力、その力の中には、賞賛をされて、自分の力を自分で認めるとかいろんなものがあると思います。言葉としては、この中で色々な所で入っていますが、子ども達にどんな力を付けなければいけないという部分が少し足りないと思います。この方針はつくと何年間はこの方針でというものがありますか。

事務局： 様々な社会変化の中で見返しをしていくと表記しているの、私のなかでは、その都度良いものにしていけば良いと思います。

岩本教育長： 一番の目的は、何かあった時にどうしたら良いかということを中心に明らかにしておくというところが一番の目的だと思う。一人ひとりの子どもにどんな力をつけるのかということに関わって、これからもう少し教育委員会での議論を踏まえてさらに良くしていけば良いと思います。

草間委員長： 今の橋爪委員の言われたような要素があれば今後その都度入れていけば良い、ということでもよろしいですか。

事務局： その点の修正は問題ないと思います。

岩本教育長： 橋爪委員がおっしゃるのは3番のいじめの基本的な考え方がもう少し盛り込まれれば多分良いのではと思うので、この辺はもう少し検討させていただきます。褒めるにしても何をどのように褒めるのかも難しい。

橋爪委員： こういうところで何を褒めるのかという部分を保護者に身につけて欲しい。

岩本教育長： 反映できるものはここで反映し、それ以外の部分も大事な部分だと思うので、来年度で改良をしていくということでもよろしいでしょうか。

事務局： それでは、再度修正したものをお届けし、4月23日の総合教育会議に臨む資料とさせていただきます。

事務局： 現在は、教育委員会としての素案から案にしていくところですので、まだ修正の余地があるということで、宜しくお願ひします。4月23日の前に総合教育会議の打ち合わせをしますので、その際に修正した内容の説明をいたします。

倉田職務代理： P1の3の学校、地域、家庭と家庭が入る可能性はありますか。入っていた方が  
良いと思いました。

事務局： 承知しました。

草間委員長： それでは、この時点では案を認めていただき、再度修正したものを皆さんにお示し  
するという事にいたします。

### 3. 岡谷市教育委員会表彰について【資料No.3】(非公開)

(教育総務課)

(非公開により協議)

草間委員長：次に報告事項についてお願いします。

○報告

1. 平成27年度教育委員会事務局職員定期人事異動について【資料No.4】（教育総務課）  
＜資料No.4に基づき、人事異動の状況について報告＞

○その他

- ・行事等について（各課）  
＜各課より行事予定について説明＞
- ・その他  
＜次回開催日の調整＞

草間委員長：本日予定していた内容は以上となります。これもちまして、4月の定例教育委員会を終了とします。

終了16時20分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成27年5月8日

署名委員

小野 繁男

署名委員

橋爪 園美

調製職員

吉澤 洋人